

授業科目	憲法演習
演習題目	憲法の最新理論・実務の分析
担当教員	赤坂幸一・高橋雅人 (Akasaka K., Takahashi M.)
授業の目的	最新の憲法判例および憲法理論の分析を通じて、憲法学の基礎的・発展的知識を修得することを目的としています。司法試験（L S 進学および予備試験）を念頭に置いている学生だけではなく、公務員や民間企業、また研究者を志望する学生にとっても有益な演習となるように、演習プログラムを設定しています。
履修条件	積極的かつ朗らかにゼミ活動に参加して頂けることが、唯一の履修条件です。
教科書・参考書	判例報告については、各判例の評訳、調査官解説などを参照するとともに、その背後にある学説の調査を行うため、必要に応じて研究書・教科書などを調査する必要があります。また、効果的なゼミ運営を実施するため、ゼミ報告・参加に先だって、田高寛貴ほか『リーガル・リサーチ & リポート』（有斐閣、2015年）に目を通してきて下さい。 その他、全体を通じて参照すべき書物として、次の3冊を推薦します。 1) 穴戸ほか『判例プラクティス憲法〔第3版〕』（日本評論社、2022年） 2) 穴戸『憲法解釈の応用と展開〔第2版〕』（日本評論社、2014年） 3) 曾我部ほか『憲法論点教室〔第2版〕』（日本評論社、2019年）
授業の計画・内容	半分程度は、教員が予め準備する近年の憲法（広くは公法）判例リストから、担当を希望する判例を選択したり、あるいは自身が取り組みたい判例を主体的に調査・選択したりして、いわゆる判例研究の形式でゼミ報告を行います。 残りの半分程度は、個別テーマに関する報告や、文献講読を行います。 また、当ゼミでは、折々の学生の希望を取り入れつつ、随時エクスカージョンを行っています。2015-23年度の活動記録については、網羅的ではありませんが、次のURLをご覧ください。 http://blog.livedoor.jp/akasaka_z-kougi/archives/cat_886170.html 演習後には、教員の余力の範囲内で、参考文献の紹介や内容の補足などのフォローアップを、講義用blogにおいて行う予定です。 http://blog.livedoor.jp/akasaka_z-kougi/ その他、ご質問などあれば、遠慮なくメールでご質問下さい。また、必要に応じ、Zoomまたはリアルでの面談を設定することも可能です。また、詳細の内容については、オープンゼミの機会に、資料をもとに説明させていただきます。
成績評価の方法	報告の内容、討論の積極性等を総合的に評価します。